

中津市地域公共交通アクションプランの概要

1. 計画の基本事項

- > 目的: 確実な事業実施と継続的な公共交通体系の維持・運行
- > 位置づけ: 地域公共交通計画に基づく「実施計画」
- > 対象区域: 中津市全域
- > 実施期間: 令和8年10月 ~ 令和10年3月末

2. 全体の基本方針

- > 運行資源の最適配分:
利用ニーズを集約した路線に再編することで交通資源の最適配分を行い、利便性を向上
- > デマンド運行への転換:
予約制で自由度の高い運行形態へ転換し、利便性を改善
- > 利用機会の増大:
中津地域内等での「運賃均一化」を検討し、利用を促進

3. 主な実施事業

- > デマンド交通の導入・転換:
中津・三光（実証運行後に導入判断）、本耶馬溪（午後便を転換）、耶馬溪（全日転換）、山国（継続改善）
- > 路線再編・新規運行:
本耶馬溪地域のイオン三光への延伸、市内線の再編検討
- > 運賃均一化の検討:
中津地域内（一部三光地域含む）の路線バスで導入を検討

4. スケジュール

- > R8.10~ 本耶馬溪地域、耶馬溪地域デマンド交通導入
- > R8年度 中津・三光地域の一部地域で実証運行
実証運行後の検証と併せて市内線の再編、運賃均一化を検討

5. 想定する効果

- > 年間利用者数の目標:
本耶馬溪、耶馬溪、山国の公共交通利用者
R6年度 8,269人 → R9年度 12,410人（約4,000人増）
- > 想定する効果:
 - ・長期的な公共交通ネットワークの維持・確保
 - ・移動ニーズを考慮したサービス水準の適正化
 - ・運行効率化による運転手の労働環境向上
 - ・分かりやすい運賃、路線による利用者の維持・増加

6. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

- > 再編による概算事業費:
本耶馬溪、耶馬溪のデマンド化による概算事業費
R6年度実績 29,642千円 → R9年度概算 37,722千円
（約8,080千円増）
- > 資金の調達方法:
中津市単独予算をベースに国・県の補助金活用を検討

